

令和 8 年台風第 6 号及び第 8 号の確定値を掲載

令和 8 年台風第 6 号及び第 8 号の事後解析の結果、第 6 号は 6 月 3 日 5 時前に上陸、第 8 号は千葉県館山市付近に上陸したと解析しました。

気象庁では、全ての台風について、速報解析時点及びそれ以降に収集した資料も用いて再度詳細に解析（事後解析）した結果を確定値として公表しています。

本日、本年 6 月に日本に接近した台風第 6 号及び第 8 号の事後解析による確定値（台風経路図、台風位置表、ベストトラックデータ）を、気象庁ホームページの「過去の台風資料」（※）に掲載しました。

台風第 6 号は、速報値では 6 月 3 日 4 時半頃に和歌山県南部に上陸したと解析していましたが、確定値では 6 月 3 日 5 時前に上陸したと解析しました。また、台風第 8 号は、速報値では千葉県南部の沿岸付近を進んだと解析していましたが、確定値では千葉県館山市付近に上陸したと解析しました。

※ 気象庁ホームページ「過去の台風資料」の URL

<https://www.data.jma.go.jp/typhoon/index.html>

＜「速報解析による速報値」と「事後解析による確定値」について＞

気象庁が公表する台風の中心位置や中心気圧などには、「速報解析による速報値」と「事後解析による確定値」があります。

「速報解析による速報値」は、限られた時間内に収集できたデータを用いて、速報的に解析したものです。その結果は、速報値として、リアルタイムに発表する台風情報に用いています。

「事後解析による確定値」は、台風消滅後、速報解析時点及びそれ以降に収集した資料も用いて、台風の発生から消滅までの時間的な推移を考慮しながら台風の位置や強度を再度詳細に解析し、最終的に定めたものです。その結果は確定値として、今後の台風予報の精度向上のための基礎資料や、台風の統計資料に用いています。

問合せ先：大気海洋部 気象リスク対策課

アジア太平洋気象防災センター 福田

電話 03-6758-3900（内線 4232）